

鶴嶺公民館

テーマ

<わくわく ドキドキ 元気発信!>



鶴 嶺 公 民 館 目 次

1 鶴嶺公民館の概要	1 1 7
2 公民館運営審議会	
(1) 公民館運営審議会委員名簿	
(2) 会議・研修会などの経過	
3 公民館の利用状況	1 2 0
(1) 施設の利用状況	
(2) 月別利用人数	
(3) 室別・曜日別利用状況	
4 主催事業	1 2 1
(1) 家庭教育支援関連事業	
ア 子育て広場 カルガモ	
イ 乳幼児健康相談	
ウ 学びの広場	
エ 子育てしながらウクレレマスター	
オ 赤ちゃん木育広場	
カ スマイリングままサロン	
キ 親子で味噌づくり講座	
(2) 子ども事業	1 2 6
ア 子どもの広場	
イ 小学生放課後卓球ひろば	
ウ リニア見学センターに行こう	
エ 小学生夏休みサークル体験	
オ オモシロ音あそび	
カ ぼうさい探検隊	
キ おはなしコンサート	
ク 夏休み親子料理教室	
ケ 夏休み自然観察	
コ 海藻おしばづくり	
サ 楽しい科学実験	
シ キッズ向けミニコンサート	
ス 宿題応援！子ども書初め教室	
(3) 地域交流事業	1 3 4
ア つるみねミュージックイン	
イ 日本の歳越し	
ウ 自然観察 小出川を歩きながら動植物を探そう	
エ 卓球解放	
オ 夏休みこども作品展示会	
(4) 社会的要請課題をテーマとした事業	1 3 6
ア 遊々クラブ	
イ 体幹を鍛えるピラティスエクササイズ	
ウ ロコモティブシンドローム予防ストレッチ	
エ 癒やしのハーブ	
オ 普通救命講習会	
カ 振り込め詐欺防止講座	
キ フレイルチェック	
ク 今さら聞けないスマホ講座	
ケ 楽しく行う認知症予防「コグニサイズ」	

コ 「わたしの覚え書き」講座	
サ 肩こり・腰痛・膝痛改善運動	
シ つるみね防災講座	
ス 異文化交流	
セ 家族介護教室	
ソ スマートフォン入門講座	
タ キャッシュレス使い方講座	
(5) 学習成果の還元事業	1 4 5
ア 公民館まつり	
イ つるみねオープンサークル	
ウ ロビー展	
(6) 公民館ふれあい事業	1 4 6
ア スポーツ吹矢	
イ 高尾山をめざそう	
ウ 神奈川散策 ～神奈川のもうひとつの茅ヶ崎を歩く～	
エ つるみね名画座	
オ 陶芸教室	
カ 木版画教室	
キ 七宝入門	
ク 古典文学講座	
ケ 初めてのノルディックウォーキング	
コ 鎌倉歴史散策 ～鎌倉七口大仏切通から長谷を歩く～	
サ 基礎から学ぶ陶芸教室	
シ 神奈川の旧東海道を歩く（神奈川宿）	
ス つるみね健康レストラン	
セ 茅ヶ崎市の歴史講座	
5 出版活動	1 5 2
(1) 公民館だより「つるみね」	
(2) 情報誌「情報つるみね」	
6 その他	1 5 3
(1) 利用者説明会	
(2) 利用者懇談会	

令和元年度事業の総括

鶴嶺公民館では、昨年度に引き続き、テーマを「わくわく ドキドキ 元気発信！」に掲げ、新規9事業を含む57事業を実施した。利用者の皆さまが、新しい事にチャレンジしたり、新たな発見をしたり、人々との交流を通じて、わくわくドキドキし、元気になってお帰りいただき、また足を運んでいただくことを目指した。しかしながら、新型コロナウイルスまん延防止対策として、2月22日（土）からの事業が全て中止せざるえない状況となり、利用者の発表の場であり、地域交流の場である、3月6日（金）～8日（日）の公民館まつりが実施できなかったことが残念でならない。

平成25年度から実施している「子育てしながらウクレレマスター」は、参加者同士が交替で保育をしながら、ウクレレを習得する講座で、親同士の交流にも役立ったという声や、子育て中でも色々な事ができることに気付いたという声をいただき、毎年、好評である。

小学生を対象とする講座の「小学生夏休みサークル体験」や「子どもの広場」では、地域の小学校3校の協力を得て、児童に一枚ずつチラシを配付し、周知を図った。その成果もあり、「子どもの広場」では、開館前に児童が並んで待つ姿が見られた。

また、利用者の代表がスタッフとなって、事業を企画・運営する「遊々クラブ」では、音楽・手芸・運動・散策・ミニ旅行など、年間を通じて多岐にわたる講座を実施し、シニア世代が明るく希望を持った生活を送れるよう支援した。

今後も、利用者懇談会や公民館運営審議会を通じて利用者の声の把握に努め、元気を発信できるよう事業を実施していく。



1 鶴嶺公民館の概要

開館38年目を迎え、多くのサークル・団体に公民館が活用されている。令和元年度も昨年度に引き続き、「わくわく ドキドキ 元気発信」をテーマに事業を実施し、さらなる地域との交流を目指した。

○所在地 茅ヶ崎市萩園2028番地55
 ○開館日 昭和57年5月7日
 ○敷地面積 1,459㎡
 ○延床面積 785.59㎡
 ○建設事業費 187,950,000円

2 公民館運営審議会

公民館運営審議会は、館長の諮問に応じ、公民館における各種事業の企画実施について調査・審議を行った。また、茅ヶ崎市公民館運営審議会委員連絡協議会においては、5館の委員相互の連絡協調を基本に、各種事業等の情報交換を図った。

(1) 公民館運営審議会委員名簿

任期2年（平成30年4月1日～令和2年3月31日）

氏 名	区 分	備 考
馬 場 信 行	浜之郷小学校区青少年育成推進協議会	会長
鈴 木 京 二	茅ヶ崎市老人クラブ連合会	
長 崎 洋 美	鶴嶺西地区社会福祉協議会	
石 井 幸 子	鶴嶺公民館利用者懇談会	
松 本 楯 臣	鶴嶺東地区自治会連合会	副会長
矢 部 裕 子	鶴嶺西地区まちぢから協議会	～平成31年3月31日
後 藤 智 子	〃	平成31年4月24日～
山 井 美奈子	茅ヶ崎小学校長会鶴嶺小学校教頭	～平成31年3月31日
奥 谷 み さ	〃	平成31年4月24日～

(2) 会議・研修会などの経過

平成31年 4月24日（水） 平成31年度第1回茅ヶ崎市立鶴嶺公民館運営審議会

- 平成31年度予算及び事業計画について
- 諮問について
- その他

令和 元年 5月31日（金） 令和元年度第1回茅ヶ崎市公民館運営審議会委員連絡協議会

- 幹事及び推薦委員等について
- 令和元年度公民館運営審議会委員連絡協議会事業計画（案）について
- 令和元年度社会教育課・各公民館事業計画について
- 令和元年度公民館予算について
- その他

6月28日（金） 茅ヶ崎市公民館運営審議会委員連絡協議会幹事会
 ○公民館運営審議会委員連絡協議会の研修について

○その他

7月11日(木) 令和元年度第2回茅ヶ崎市立鶴嶺公民館運営審議会
○答申(案)について
○その他

10月9日(水) 茅ヶ崎市公民館運営審議会委員連絡協議会研修会
○社会教育に関する講演
講師：神原 聡 氏(前茅ヶ崎市教育委員会教育長)
○「うみかぜテラス」施設見学
説明：青少年課体験学習センター職員

11月8日(金) 館長・公民館運営審議会委員等研修会
(ハーモニーホール座間)
○講演：「地域と学校との連携・協働における公民館の役割」
～公民館をネットワークの基点とした新しい「人づくり」
「つながりづくり」「地域づくり」の展開～
講師：興梠 寛 氏(昭和女子大学 グローバルビジネス学部)
○講演：「外国にルーツを持つ人々と共に」
～共に生きる地域社会の実現にむけて～
講師：竹川 真理子 氏
(NPO法人在日外国人教育生活相談センター・信愛塾センター長)

11月27日(木) 令和元年度第3回茅ヶ崎市立鶴嶺公民館運営審議会
○答申(案)について
○令和元年度主催事業の実施状況について
○令和元年度公民館長・公民館運営審議会委員等研修会について
(報告)
○その他

12月20日(金) 審議会委員等研修
○講演：「社会教育の基礎と役割」
講師：山本 珠美 氏
(青山学院大学教育人間科学部教育学科准教授)

令和 2年 1月17日(金) 第61回神奈川県公民館大会
(愛川町文化会館ホール)
「これからの時代に求められる公民館像とは?～公民館を起点とした
「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」の展開～
○大会式典・表彰式
○講演：野澤 令照 氏(宮城教育大学学長付特任教授)

2月19日(木) 令和元年度第4回茅ヶ崎市立鶴嶺公民館運営審議会
○答申について
○その他

- 3月18日（水） 第2回茅ヶ崎市公民館運営審議会委員連絡協議会
- ※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を中止
 - 公民館運営審議会委員連絡協議会選出各委員の活動報告
 - 神奈川県公民館連絡協議会主催事業の報告について
 - 各公民館運営審議会からの令和元年度活動報告
 - その他

3 公民館の利用状況

ロビーなどの利用を除く、各室の利用統計

(1) 施設の利用状況

職員数	開館日数	部屋別利用可能時間数合計 (A)	総利用 件数	総利用 時間数	団体利用			主催事業			合計 利用率
					利用 件数	利用 時間(B)	利用率 (B)/(A)	利用 件数	利用 時間(C)	利用率 (B)/(A)	
職員 3人 嘱託員 4人	282	20,304	2,480	8,692	2,229	7,459	36.7%	251	1,233	6.1%	42.8%

(2) 月別利用人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	2,660	2,752	2,788	2,934	2,978	2,944	2,873	2,650	2,595	2,809	2,506	22	30,511
月別 利用率	8.7%	9.0%	9.1%	9.6%	9.8%	9.6%	9.4%	8.7%	8.5%	9.2%	8.2%	0.1%	100.0%

(3) 室別・曜日別利用状況

		火		水		木		金		土		日		月		計		部屋別 利用可 能時間 数	利用 率
		件数	時間	件数	時間	件数	時間	件数	時間	件数	時間	件数	時間	件数	時間	件数	時間		
講義室	団体	104	223	150	337	172	418	172	426	104	375	101	306	14	56	816	2,141	3,384	73.3%
	主催	12	43	16	78	6	20	5	20	9	54	30	121	1	4	79	340		
子ども 室	団体	36	250	80	278	50	170	60	185	47	169	30	132	2	12	305	1,196	3,384	40.5%
	主催	0	0	2	5	21	83	2	9	9	43	4	30	1	3	39	173		
実習室	団体	19	95	5	27	19	95	18	66	14	51	4	13	0	0	79	347	3,384	18.1%
	主催	0	0	7	45	9	62	3	28	15	95	4	28	2	9	40	267		
学習室 1	団体	56	213	75	192	75	265	53	159	47	172	24	92	2	6	332	1,099	3,384	35.3%
	主催	1	5	3	7	2	7	0	0	11	59	2	12	1	6	20	96		
学習室 2	団体	80	285	79	243	73	285	99	349	47	190	46	237	6	27	430	1616	3,384	56.7%
	主催	3	12	18	87	6	31	4	15	29	136	3	17	1	6	64	304		
和室	団体	24	92	60	272	60	125	41	155	34	134	48	282	0	0	267	1,060	3,384	32.9%
	主催	1	5	1	1	1	5	0	0	3	24	2	14	1	4	9	53		
計	団体	319	1,158	449	1,349	449	1,358	442	1,340	293	1,091	253	1,062	24	101	2,229	7,459	20,304	42.8%
	主催	17	65	47	223	45	208	14	72	76	411	45	222	7	32	251	1,233		
	計	336	1,223	496	1,572	494	1,566	456	1,412	369	1,502	298	1,284	31	133	2,480	8,692		
曜日別利用 可能時間数		2,736		3,384		3,384		3,384		3,312		3,384		720		20,304			
利用率		44.7%		46.5%		46.3%		41.7%		45.4%		37.9%		18.5%		42.8%			
開館日数		38		47		47		47		46		47		10		282			

4 主催事業

(1) 家庭教育支援関連事業

ア 子育て広場 カルガモ

【目標・目的】 保育サークル「カルガモ」の協力を得て、乳幼児を持つ家族のコミュニケーションの場、出会いの場を提供し、子育て支援施設としての機能充実を図る。

【成 果】 8月「カルガモ夏祭り」、12月「カルガモクリスマス会」でにぎわうが、その他の月は参加人数が減少傾向にある。年度初めの4月に人形劇を開催した。その結果、参加人数は10数人から20数人代へ増えた。毎月欠かさず参加する親子の中には、子育ての悩みを打ち明けたり、子ども室で遊ぶ子どもの姿を見て、笑顔で帰ったりする方もいる。この事業の目的は、概ね達成されていると思う。

日 時	内 容	講師・協力	参 加 者
4月25日(木) 12時～16時	●12時～16時 乳幼児を持つ親子の憩いの場として子ども室を開放。保育サークル「カルガモ」の3人が見守り ●14時～ おばんばやしによるわらべ唄や手遊びなど親子で遊ぶ 《催し》 ○4月は人形劇「おむすびころりん」 8月は講義室で「からだを使ってリズムあそび」 12月は「カルガモクリスマス会」	森 早苗 氏 (保育サークルカルガモ代表) 片山 恵美子 氏 (おばんばやし代表)	24人
5月23日(木) 12時～16時			16人
6月27日(木) 12時～16時			10人
7月25日(木) 12時～16時			15人
8月22日(木) 12時～16時			20人
9月26日(木) 12時～16時			7人
10月24日(木) 12時～16時			13人
11月28日(木) 12時～16時			8人
12月19日(木) 12時～16時			15人
1月23日(木) 12時～16時			6人
2月27日(木) 12時～16時			2月、3月は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を中止
3月26日(木) 12時～16時			
合 計			延べ134人

イ 乳幼児健康相談

【目標・目的】 健康増進課との共催により、年6回、保健師及び栄養士が地域に出向き、乳幼児を対象とした身体計測や発育・発達相談をする。身近な地域で、手軽に相談することで、保護者の不安を解消するとともに、課題に関する早期対応を可能にする。

【成 果】 お住いの地域で気軽に相談できる体制を整えることで、保護者の疑問や不安の解消に役立つことができた。

日 時	内 容	講 師	参 加 者
4月 4日(木) 13:30～14:30	身体計測、発育発達、育児、離乳食、幼児食などの相談	市健康増進課	7人
6月 6日(木) 13:30～14:30			5人
8月 1日(木) 13:30～14:30			6人
10月 3日(木) 13:30～14:30			9人
12月 5日(木) 13:30～14:30			4人
2月 6日(木) 13:30～14:30			11人
合 計			42人

ウ 学びの広場

【目標・目的】 家庭における在宅学習が困難な子どもに学習場所を提供し、経済的な理由で塾に行っていない小学3年生と4年生を対象に、学習意欲を醸成し意欲を高める。

【成 果】 第1クール

参加している子の四則計算が速くなったり正確になったりと、一定の成果が見られる。原則的に、月3回のまなびの広場への参加で、理解できなかった内容を正しく答えられる子が増えた。

夏休み企画

夏休み終盤に開催したので、学校からの宿題「夏休みのドリル」の分からない箇所や、他の教科も指導していただけた。

第2クール

どちらの学年も第1クールからの子がほとんどだったため、初めて参加する子の保護者だけ顔合わせをした。参加している子どもたちは、学校の垣根を越えて仲良くなり、楽しく学習している。また、通ううちに学習の態度にも変化が見られ不思議に生活態度にも変化が見られた。

第3クール

3年生は9人と定員の倍近くになり、和気あいあいと楽しそうに学んでいた。学習面では、基本的なかけ算、わり算、文章題にまじめに取り組む姿が見られた。講師が用意する毎回の適切なプリントが、子ども達の理解につながっていると思う。3年生の時から継続して参加していた子（4年生）が、塾に通う旨を伝えてきた。5年生になると「まなびの広場」がなくなるので、早めに辞退されたようだ。「まなびに通わせていただき大変に助かった。」とお話しされ「子どもが本当に楽しく通うことができた。」と感謝されていた。

日 時	内 容	講 師・協 力	参 加 者
第 1 クール（全 1 2 回、毎週土曜日）		講師： 阿部 直久 氏 （元小学校教諭） 協力： まなびの広場スタッフの 会	3年生6人 4年生6人 （延べ人数118人）
4月13日（土） ～ 7 月13日（土） 10:00～12:00	3 年生、4 年生の算数の補習 3 年生、 4 年生の算数の補習		
夏休み企画（全 5 回）			5年生1人 6年生3人 （延べ人数20人）
8月20日（月） ～ 8 月25日（日） 11:00～12:00	5 年生、6 年生の算数の補習		
第 2 クール（全 1 0 回、毎週土曜日）			3年生5人 4年生5人 （延べ人数85人）
9月7日（土） ～ 12月14日（土） 10:00～12:00	3 年生、4 年生の算数の補習		
第 3 クール（全 8 回、各土曜日）			3年生9人 4年生6人 （延べ人数55人）
1月11日（土） 1月16日（土） 2月8日（土） 2月15日（土） 10:00～12:00	3 年生、4 年生の算数の補習		
2月22日（土） 2月29日（土） 3月14日（土） 3月21日（土） 10:00～12:00			
合 計			

エ 子育てしながらウクレレマスター

【目標・目的】 育児中の親に、ウクレレを楽しみながら、リフレッシュしてもらうことを目的とした。最終日には練習の成果を発表することで、育児中でも一つの楽器を習得できたという達成感を得る。また、お互いに保育しながら練習をするという試みで、育児環境の異なる同世代の親たちとの交流を通し、個の尊重や子育ての喜びや、楽しさを享受する。

【成 果】 講師の片山さんには、ウクレレの指導だけでなく、親子で楽しむわらべ歌やおもちゃ作り、子どものための読み聞かせなどを取り入れ、母親だけでなく子どもにとっても楽しい講座となった。

日 時	内 容	講 師	参 加 者
6月 6日(木) 10:00～11:30	子どもが場所に慣れるよう5月のカルガモからスタート。基本的に2組に分けて練習し、子どもの様子を見ながら進めて行く。保育に関しては、見守りポイントを決め、安全に留意する。今年度から参加者同士も親睦を深めるおしゃべりタイムを設け、より親しみやすい講座にした。全4回わらべうた遊び、ウクレレの持ち方等	片山 恵美子 氏	親子10組 (20人)

6月13日(木) 10:00～11:30	コード練習、新曲、絵本の読み語り等		親子10組 (20人)
6月20日(木) 10:00～11:30	コード練習、新曲、絵本の読み語り等		親子8組 (16人)
6月27日(木) 10:00～11:30	今までの復習、演奏発表等		親子9組 (18人)
合 計			親子37組 (延べ74人)

オ 赤ちゃん木^{もく}育^{いく}広場

【目標・目的】 木のおもちゃは子どもの五感に働きかけ、感性豊かな心の発達を促し、親にとっても癒し効果がある。木のおもちゃを通して、身近なところから木を取り入れ、木の魅力を知ってもらうきっかけにすると共に、親子で木のおもちゃに触れて遊ぶことで、その心地良さを体感する。そして、この「木育ひろば」を通じて同世代の子どもを持つ親同士のつながりと交流の場を提供することを目的とする。

【成 果】 子ども室にたくさんのおもちゃが並び、子どもたちがどれで遊べば良いのかと、目移りしてしまうような状況だった。木のおもちゃは、初めて使うという親も多く、おもちゃを動かした親が感動するという場面も多々あった。
子どもの興味に合わせて、親も部屋を移動し、その都度、付近にいる親子と会話をしていた。ゆったりと親子での交流もできているように感じた。
参加者が少なく、講座の開設が勿体ないように思っていたが、子どもたちが自分のペースでおもちゃに触れることができ、また、親からも、子どもの様子で気になることや、自分の状況などを自然に口にしやすい状況ができ、とても有意義な時間になったと思う。参加者の反応も良く、自宅に近い公民館での子育て講座の開催状況等を確認する方もいらした。鶴嶺公民館の「子育てしながらウクレレマスター」や「子育て広場 カルガモ」も宣伝し、興味を持っていただけたように感じた。今後、講座へ参加や、サークル活動への参加につながることに期待したい。

日 時	内 容	講 師	参 加 者
10月5日(土) 9:40～10:40 10:50～11:50	最初はどんぐりさんから、どれで遊ぶのかもどのように遊ぶのかも自由だが、トイレットペーパーの芯を通るサイズのは、赤ちゃんが飲み込める大きさなので注意が必要。赤ちゃんがおもちゃを舐めてしまった時には除菌ウェットで拭いてくださいということを伝え、その後、たくさんの木のおもちゃで思い思いに遊んでもらった。最後には、打楽器を使って皆で一緒に演奏した。	片山 恵美子 氏 (どんぐりさんの木育ひろば)	7組16人

カ スマイリングママサロン

- 【目標・目的】・産後崩しやすい心と身体のバランスを保ち、深刻な「産後うつ」に至らぬよう専門家の立場から身体ケア、身体トラブルの解消法を学ぶ。
・母親たちが自ら身体トラブルを解決できるきっかけ作りの提案。
・慣れない育児で、相談できる場所もなく日々緊張している母親に、同じ立場の仲間と語り合い、相談できる居場所を提供し、「孤独な子育て」を回避すること。

【成果】産後体操をベースに、参加した母親同士の緊張をほぐし、コミュニケーションを図ることをうまく取り入れたプログラムになっていた。毎回参加者全員がマンツーマンで もれなくご挨拶するという取り組みは、参加者間の親密度を高め、楽しく産後の身体ケアを学ぶことに大変有効であった。齋藤先生の指導方法と明るく元気な声に、参加者も笑顔になってリフレッシュできたようだった。ホルモンバランスについて図解の説明もあり、産後の身体のメンテナンスの大切さをしっかり学んだ。各部位のトレーニングは、家庭でも子どもと一緒にできると好評であった。
最終回では、メールアドレスを交換する様子も見られ、「孤独な子育ての回避」に一定の成果が得られた。

日 時	内 容	講 師	参 加 者
10月10日(木) 10:30～12:00	第1回「産後のケアをしよう」 参加者の身体相談にのりながら、実際に行える日常動作の改善策とストレッチの紹介。グループワーク（産前産後の身体変化と現在の不調について）	齋藤尚美さん (健康運動指導士) 伊藤和子さん (ぽかぽか保育園保育士)	第1回 8組
10月17日(木) 10:30～12:00	第2回「産後の身体を引き締めよう」 育児生活の中に取り入れる運動や落ちた筋力を回復するための方法をレクチャー。グループワーク（産後のホルモンバランスについて） アンケート・質問等記入		第2回 6組
10月31日(木) 10:30～12:00	第3回「産後のエクササイズを続けよう」 一人ひとりの課題に寄り添い改善策を提案。グループワーク（産後取るべき栄養について）		第3回 7組
合 計			延べ67人

キ 親子で味噌づくり講座

【目標・目的】日本の伝統的な食文化の一つに味噌がある。その原料である大豆を使い味噌づくりを体験する。未来につながる子どもたちに昔ながらの味噌を味わってもらいたいと企画した。また、親子のふれあいを深め、共同で体験できる事業にする。

【成果】「参加してみた感想は？」との問いに、子ども9人全員が「楽しかった」、大人9人が「満足できた」との答えで、親子で楽しく作業することができた。また、作業前にYummy! つるまによる「みそクイズ」を行い、味噌について小さな子どもも楽しめるよう工夫した。
アンケートの感想では、子どもからは「さいしょはむずかしくてわからなかったけど、べんきょうになったからまたきたい」「みそづくりってたいへんだね」など、子どもらしい感想が寄せられたれ、大人からは、「とても楽しかったです」「子どもと麴ににおいを体験できた」とあり、親子で昔ながらの味噌作りの工程を楽しく学んできたと思う。

日 時	内 容	講師・協力	参 加 者
2月1日(土) 10:00～12:00	①子育て企画委員の「Yummy! つるまま」によるみそクイズ ②前日煮ておいた大豆をつぶし、塩と麴を混ぜ、そこに大豆を入れて混ぜる。味噌玉を容器に詰め、各家庭で熟成させる。 ③昨年仕込んだ味噌で作った味噌汁を飲みながら歓談。	講師:千葉 光枝 氏 協力: Yummy! つるまま	21人

(2) 子ども事業

ア 子どもの広場

【目標・目的】 公民館利用のグループやボランティア等の協力を得て、地域の子どもたちのふれあいの場を作り、さまざまな体験を通して、子どもたちの自己実現を図る。また、季節の風物詩を取り入れ、日本の伝統を承継する心を養うことを目的とする。

【成 果】 参加する子どもたちは、毎月異なる内容の講座を楽しみにしている。最近では親もこの企画をチェックして、小さい子には親が付き添って参加する例も多い。また異年齢の交流にも役立っており、有意義な講座になっている。各月の企画では、プラ板モビール工作、飛びだすクリスマスカード作りが好評だったが、スポーツ系（卓球ボッチャ）の参加者が少なかった。当初、2月はスポーツ吹矢の計画であったが、コロナウイルス対応で急遽、片山どんぐりさんに依頼して「楽器であそぼ～」に変更した。周知期間が短く参加者は少なかったが、アットホームな内容で、好評であった。本講座は近隣小学生に定着してきており、長年にわたる子どもの広場スタッフの会の皆さんのご協力の賜物である。

日 時	内 容	協力団体	参 加 者
4月20日(土) 9:30～11:00	プラ板・モビール作り	子どもの広場スタッフの会	37人
5月18日(土) 9:30～11:00	つくってたべよう! ホットケーキミックスでおやつピザ		37人
6月15日(土) 10:00～11:30	みんなでスポーツ 楽しい卓球入門		12人
9月21日(土) 9:30～11:00	つきみだんごをつくろう		28人
10月19日(土) 9:30～11:00	ボッチャであそぼう!		9人
11月16日(土) 9:30～11:00	クリスマスカードをつくろう!		28人
1月11日(土) 9:30～11:00	まんげきょうをつくろう!		18人
2月16日(土) 9:30～11:00	楽器であそぼう! ※当初計画の『スポーツ吹矢』を変更	子どもの広場スタッフの会 片山どんぐりさん	9人
3月8日(日) 10:00～13:00	ストラックイン (公民館まつり)	子どもの広場スタッフの会	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を中止
合 計			178人

イ 小学生放課後卓球ひろば

【目標・目的】 2020東京オリンピック・パラリンピックを翌年に控え、10代の日本代表選手の活躍に注目度の高い卓球に親しめるように、月に一度、放課後に公民館を開放する。特に指導者は置かず、参加した小学生が互いに競い、譲り合う心を育む場を目指す。（当事業は平成30年度で終了した「放課後広場」に代替する事業に位置づける。）

【成果】 平成30年度までの小学生放課後広場に替わり、子ども事業として令和元年度より開始した。4月、5月は、参加した小学生が各々にボールを打ち合ったが、卓球の基礎が全くなく、楽しむ状況でなかった。6月よりハマミーナでサークル活動をしている松村知佐子さんに指導をお願いし、参加した小学生を5分程度の個人指導に切り替えたところ、指導者相手ではラリーができるようになってきた。

日 時	内 容	講 師	参 加 者
4月16日(火) 15:00～16:30	月に一度の火曜日の放課後に公民館で、 友達、保護者と自由に卓球を楽しむ。 参加した小学生は、ラリーができるよう 指導者から卓球の基礎を学ぶ。	松村 知佐子 氏 (ハマミーナ卓球サークル)	9人
5月21日(火) 15:00～16:30			4人
6月18日(火) 15:00～16:30			16人
9月10日(火) 15:00～16:30			15人
10月 8日(火) 15:00～16:30			13人
11月12日(火) 15:00～16:30			5人
1月21日(火) 15:00～16:30			14人
2月18日(火) 15:00～16:30			11人
3月17日(火) 15:00～16:30			新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を中止
合 計			延べ87人

ウ リニア見学センターに行こう

【目標・目的】 日本で唯一、時速500kmで走行する超電導リニアを間近で見られる「山梨県立リニア見学センター」へ行き、2003年に世界最速記録を樹立した実車両等に触れ、超伝導リニアのしくみを実験で体験学習する。また、小学生とその保護者とがバスで

一緒に施設見学に行き、共に見学や実験をすることで、親子のふれあいの機会を提供する。

【成 果】マイクロバスを利用する事業で、親子での申請だったため、8～9組しか参加できない中、32組の応募があった。当日キャンセルが1組3人。参加した小学生は、今宿3人、浜之郷3人、鶴嶺2人で、学年の内訳は1年生3人、2年生2人、3、4、6年生が一人ずつであった。男の子ばかりになると思っていたが、女の子の申請も多く2人の女の子が参加した。

低学年が多かったので、ワークショップはマグネスライムの参加者が多かった。ワークショップでは、センター職員が説明してくれたが、作り方のみで、仕組みの解説はしてもらえず、工作になってしまったことが残念だった。

道中はほぼ渋滞もなく、センターもそれほど混雑しておらず、見学時間が十分に取れたため、親子でじっくりと見学することができたと思われる。できれば、外出する機会の少ない家庭に参加して欲しかったが、みなさん、たくさんのお土産を購入し、アイスなどのおやつも十分に堪能しての解散となった。

日 時	内 容	講 師	参 加 者
7月6日(土) 9:30～14:00	バスの中で、リニア見学センターの実験等の予定時刻を伝えるとともに、リニアに関するクイズを出題し、リニアの仕組みなどについて考えてもらうきっかけとした。リニア見学センター到着後は、ワークショップの時間まで解散。親子で自由に館内を見学してもらった。当日は、リニアの試験走行もあった。ワークショップの時間に再度集合し、事前に選択していただいたメニュー（ファラデーモーターまたはマグネスライム）を体験した。帰路には、道の駅「つる」にも立ち寄り、山梨県の特産品などにも触れた。	リニア見学センター職員	16人

エ 小学生夏休みサークル体験

【目標・目的】小学生の夏休み期間に、日頃のサークル活動の場を開放し、体験学習を経験させるとともに、世代を超えたふれあいの場にする。また、サークル員の日頃の学習の成果を小学生に伝える場にもする。

【成 果】例年通り6月初旬に、鶴嶺小、今宿小、浜之郷小の各児童に案内を配布し、約3週間参加募集したところ、今年度は総数522人の申し込みがあり、前年を大幅に上回った。各小学校からの申し込みも学年ごとにバラツキはあるものの、前年を大きく上回った。仲間づくりかよう会では、来年開催の2020東京パラリンピックの開催を見据え、あいおいニッセイ同和損害保険（株）の指導で、ボッチャを開催したのは新しい試みであった。

日 時	内 容	参 加 者
7月23日(火) 13:30～15:30	浜之郷パソコンクラブ（メモ帳づくり）	20人
7月24日(水) 16:00～17:30	ファティナー（バトントワリング）	25人
7月31日(水)		
8月7日(水) 8月21日(水) 14:00～15:30		

7月24日(水) 11:15～12:15	エスペランサ（ヒップホップダンス）	23人
8月 1日(木) 10:30～11:30		
7月24日(水) 13:00～15:00	湘南和太鼓（和太鼓演奏）	20人
7月27日(土) 9:30～11:20	泉 会（書道）	12人
7月27日(土) 13:30～16:00	鶴嶺てんこく会（消しゴムハンコ）	17人
7月28日(日) 10:00～11:30	松泉会（茶道）	21人
7月28日(日) 9:00～12:00	F C今宿（サッカー）	18人
7月30日(火) 10:00～12:00	茅ヶ崎食生活改善推進団体ばら（料理）	17人
8月 3日(土) 10:00～12:00	小出川に親しむ会（小出川の水質調査）	9人
8月 3日(土) 10:00～11:30	今宿少年野球部（野球）	13人
8月 7日(水) 10:00～12:00	スポーツ吹矢鶴嶺（スポーツ吹矢）	30人
8月 8日(木) 10:00～12:00	絵手紙の会（絵手紙）	15人
8月17日(土) 9:30～12:00	鶴嶺てんこく会（てんこく印）	16人
8月20日(火) 10:00～12:00	仲間づくりかよう会（ボッチャ）	38人
8月28日(水) 9:30～11:40	ウクレレくらぶ（ウクレレ演奏）	33人
合 計		延べ317人

オ オモシロ音あそび

【目標・目的】 日常品を疑似楽器に見立て、これらに触れることにより、様々な物の見方や考え方に気づく機会にする。また音の奏法（だし方）による心地よさや不快感を体感することで、奏法の力加減での違いを感じる。

【成 果】 小学生は学校の授業や習い事で楽器に触れる機会が多いが、今回のような楽器に見立てた日常品で音を出す体験は新鮮であったと思われる。
講座開始当時は少々戸惑いがあったが、いくつか音を出すうちにすっかり慣れ小学生の感性の豊かさを引き出す講座となった。

日 時	内 容	講 師	参 加 者
8月1日(木) 13:00～14:00	日常、身の回りにある道具（キッチンのボウル、ホース、釘、空き箱）などを楽器に見立て、それぞれ音を出してその音の違いを体感した。また耳から入ってきた音を、小学生達がどう感じるかを黒板に図形に描くなどして、同じ音も聞く人ごとに違いがあることを理解できた。最後に全員で、好みの楽器を持ち合奏した。	片山 恵美子 氏	7人
8月1日(木) 14:10～15:10			7人
合 計			延べ14人

カ ぼうさい探検隊

【目標・目的】 小学生が自分の住んでいる地域を探検し、危険なところを発見してもらう。自分の住んでいる地域をよく知ることができ、防災・防犯・交通安全の目線が養われる。かつ夏休みの自由研究として、学習することができる。

【成 果】 新規の事業として、夏休みの自由研究として、学習できると想定し、沢山の応募を期待していたが、3チームのエントリーがあったが、当日の体調不良のため1チームが欠席となった。また、真夏で炎天下の長時間散策は、体調不良を起こしかねず全体が早歩きのプロ検となってしまう。来年度、開催時期の検討を考えていきたい。

日 時	内 容	講師・協力	参 加 者
7月31日(水) 9:00～12:00	小学生が地域を探検し、防災・防犯・交通安全に関する様々な施設や設備、危険なところを発見してマップをつくる。また、作成したマップは「ぼうさい探検隊マップコンクール」へ応募した。	あいおいニッセイ同和 損保株式会社 湘南支店平塚支社	4人(2チーム)

キ おはなしコンサート

【目標・目的】 子どもたちが楽しめる音楽・歌・語りを盛り込んだコンサートを行い、そのすばらしさや楽しさを通して心の豊かさを育む。同時に家族や友だちとのふれあいの場を提供する。

【成 果】 1部ではプロジェクターを使って子どもたちが描き上げた絵を背景に、詩の朗読。会場に集まった子どもたちは開始のベルチャイムの音が鳴り始めるといっせいにおしゃべりを止め、スライドに映し出される映像と詩を熱心に聞き入っていた。2部に入ると参加型の楽しいおはなしコンサートが始まった。パペットシアター「あお虫ダンス」や「うんこのうた」など、徐々に盛り上がり「どこかがおんなじ」のあてっこ遊びになると会場は割れんばかりの大盛り上がり。夏休み終盤の楽しい催しとなった。

日 時	内 容	講 師	参 加 者
8月27日(火) 10:30～11:00	1部 スライドを使った詩の朗読 2部 参加型シアター、あてっこ遊び、最後に全員で合唱	片山 恵美子 氏	151人

ク 夏休み親子料理教室

【目標・目的】 バランスのとれた食事をとることは、丈夫な体や健全な心を育てるために、とても大切である。冷凍食品やファストフードの需要ばかりが伸びている昨今、未来を担う子どもたちとその親に、偏りのない食事をとることの大切さと、手作りの良さを伝える。また、調理方法の技術面を基本から学ぶとともに、親子で料理することの楽しさを味わってもらい、更には、参加者同士のふれあいの場となることを目的とする。

【成 果】 講義の難易度は、子ども14人中12人が「簡単でよくわかった」、大人10人全員が「ちょうど良い」。献立・調理実習の難易度（大人だけに質問）は全員が「ちょうど良い」であり、講師と『茅ヶ崎市食生活改善推進団体ばら』さんのご尽力で子どもだけでなく大人にも適当な内容になっていたと考える。アンケート自由意見で「子どもに包丁をもたせてハラハラしたが良い経験だった。ピザが簡単に作れたので家でもやってみる。親子でとても楽しめた。」など高評価をいただいた。満足度も、全24人中22人が大体満足以上の評価であり、主催事業として成功であったと考える。

日 時	内 容	講 師	参 加 者
7月26日(金) 10:00～14:00	はじめに会議室で、茅ヶ崎市保健所・管理栄養士の山田りさ子さんから食育に関する講義を聞いた。今年のテーマは「食べる？朝ごはん」。 次に隣の調理室に移動し、食生活改善推進団体ばらの皆さんの指導で、調理実習を行った。今年のメニューは「手づくりピザ、やさいたっぷりスープ、パイナップルかん」の3品。	山田 りさ子 (市健康増進課) 田尻 珠子 氏 (茅ヶ崎市食生活改善推進団体ばら)	12組25人

ケ 夏休み自然観察

【目標・目的】 近郊の自然の残る場所に出向き、動植物を親子で実際に観察し、自然保護を学ぶ。

【成 果】 今年はマイクロバス利用となったため、これまでこの講座にはあまり関心を寄せなかった層からの申し込みも増え、20組47人の応募があった。抽選で当選した8組18人が参加したが、うち7組が初めての参加であった。
子ども10人中9人が3年生以下の低学年であったが、親との参加で十分楽しんでもらえた。大人にはなかなか気づかない小さな昆虫類を、子どもたちはたくさんみつけては講師に説明を求め、大いに充実した自然観察になった。保護者も普段はあまりできない自然観察に子どもたちが目を輝かせている様子に大変満足されていた。

日 時	内 容	講 師	参 加 者
7月20日(土) 8:30～14:00	今年は初めて市のマイクロバスを利用して、電車・バスでは行きにくい南足柄市の「県立21世紀の森」に出かけ、沢沿いの道と森の中の道を歩き、途中で出会う蝶・昆虫・動植物の観察を行った。 例年は現地集合・現地解散後に各自で昼食としていたが、今年は公民館まで帰ってからの解散となるため、弁当を持参して現地で昼食をとってから帰路についた。	岸 一弘 (市景観みどり課)	18人

コ 海藻おしばづくり

【目標・目的】 さまざまな色と形の海藻を自由にレイアウトして、オリジナルの海藻おしば（ハガキ大）を作成する。指導を海藻おしば協会に依頼するが、海藻おしば協会単におしば作りの指導を行うことだけが目的ではなく、海洋環境汚染の実態を伝え、海の大切さを参加者に伝える活動が続けている。海が身近である茅ヶ崎の人たちに、海を守ってゆく心を養ってもらうことを目的とする。

- 【成 果】 参加者は子ども17人、大人9人。リピーターと、リピーターに誘われて参加した人も多く、年々盛況になっている（当初定員は15人であったが、申し込みが多く、講師の了解を得て増員した）。
 昨年参加された視覚障害の方が今年も参加されたが、高山講師の親切な指導で大変美しい作品を仕上げ、ご本人も大満足されていた。
 アンケート結果は“たのしかった”という感想が多く、海の汚染に対する気付きもあり成果があがったと考える。

日 時	内 容	講 師	参 加 者
8月9日(金) 10:00～12:00	はじめにプロジェクターで海洋汚染に関するビデオを流し、パネルや実物の海藻などを使い、またクイズ形式を工夫するなどして、食物連鎖の中で海の汚染のこわさをわかりやすく解説した。 続いてハガキ大の台紙に、講師が用意した様々な色・形の海藻をレイアウトして、各自思い思いの絵を描いた。 完成した作品は講師が持ち帰って乾燥～表面を仕上げ処理した。今年は夏休み子どもの作品展に連動して、ロビーにしばらく展示した。	高山 優美 氏 (海藻おしば協会 神奈川支部長)	26人

サ 楽しい科学実験

- 【目標・目的】 ITの発展でパソコンやスマホゲームなど、バーチャルな世界に慣れ親しみ、実際の現象を自分で実験・体験して目の当りにする機会が減り、理科離れが心配されている。おもしろく・わかりやすく、そして何より、楽しい科学実験教室を企画し、子どもたちが理科を好きになるきっかけを作ることを目的とする。

- 【成 果】 高等学校レベルの難しいテーマであったが、講師は小学校低学年生に向けて何回も行ってきた内容で進め方が慣れていた。お話が長く続くと、子どもたちはついてこれないとのことで、途中にさまざまな実験と工作を入れ、子どもたちが飽きずに最後まで興味を持って参加できるような工夫が多くあり、“たのしく”“おもしろい”実験教室になった。低学年生が多いため筆記のアンケートはとらなかったが、終了時に口頭で聞いた感想では、“難しかった”“わからなかった”は一人も無く、“理科が好きだ”“理科が好きになった”という声が聞かれ、また見学の保護者の感想も好評であり、当初の目的を十分に達成したと考える。

日 時	内 容	講 師	参 加 者
10月5日(土) 13:00～15:00	“光”には“波”の性質があることを、わかりやすい例え話で説明。液晶画面に透明セロハンテープで描いた（そのままでは見えない）絵が偏光板を通して見ると、さまざまな色を使った絵として見えることを実験で確かめた。“光の波”が方向性を持っていること、それが偏光板によって一方向に制御できることを実感。二枚の偏光板の間に、透明セロハンテープを何層も張り合わせた透明板を挟んだ“万華鏡”を各自に作らせて、工作の楽しさを味わうとともにこの難しい科学テーマを身近に感じ、理解できるように講座を進めた。	下村 正樹 氏 石原 綾夏 氏 (国立研究開発法人 産業技術総合研究所)	21人

シ キッズ向けミニコンサート

【目標・目的】 年齢制限により、生演奏を聴く機会の少ない子どもたちに、保護者と一緒にすぐ目の前で迫力のある音楽を楽しんでもらう。地域の中学校である萩園中学校吹奏楽部のメンバーに来てもらい、日頃の練習の成果、また、音楽を通して学校、家庭、地域の人たちのつながりを深める場とする。

【成 果】 毎年恒例となったクリスマスミニコンサートでは、萩園中学校吹奏楽部の2年生が演奏してくれている。今年も、18人の萩園中学校の生徒が子どもたち向けにクリスマスソングを用意してくれた。昨年の反省をもとに、楽器紹介の時は楽器の種類ごとに短い曲を演奏し、小さな子どもにもその楽器の音色を楽しんでもらえるよう工夫されていた。参加した子どもたちは、萩園中学校のお兄さんお姉さんから手作りのマラカスをもらい、音楽に合わせ身体を揺らし楽しんでいた。このように、地域の中学生と子どもたちが音楽を通して触れ合う場を持つことは、とても大切であると考えている。

日 時	内 容	講師・協力	参 加 者
12月21日(土) 11:00～11:40	萩園中学校吹奏楽部2年生18人による演奏。 ① 曲目・そりすべり ・ミッキーマウスマーチ ・クリスマスソング ・ジングルベル in swing ② 楽器の紹介 ・楽器の紹介をしながら短い曲を演奏	萩園中学校吹奏楽部 司会者：泉 裕子 氏 (Yummy! つるま) 楽器の紹介：山田 恵里花 (萩園中学校教諭)	62人

ス 宿題応援！子ども書初め教室

【目標・目的】 書道の師範より、きれいな文字の書き方を学びながら、冬休みの宿題である「書き初め」を仕上げることを支援する。また、書道パフォーマンスを身近で見ること、芸術としての「書」にも触れ、豊かな感性を育てる一助とする。

【成 果】 講師が、事前に学年ごとのお手本と各自の名前のお手本を用意して下さり、スムーズに取り組むことができた。短い時間に、それぞれ、自分が満足するまで作品を書き、宿題を仕上げる事ができた。最後に、提出用の作品を前面に掲示し、力を入れたこと、気を付けたことなどを発表し、講師からコメントをもらったため、他の子ども作品を鑑賞することができた。

日 時	内 容	講 師	参 加 者
12月27日(金) 9:30～12:00	事前に、各小学校の冬休みの課題と参加者の氏名のお手本を、先生に書いていただいた。参加者は、お手本を見ながら、まずは1枚自分で書き、それぞれ先生に添削してもらいながら、宿題を完成させた。	水野 興子 氏 (書道師範)	26人

(3) 地域交流事業

ア つるみねミュージックイン

【目標・目的】 サマーライブ

中高生および30代までの音楽・ダンスを愛好している若者を対象に、日頃の練習の成果を発表する機会を提供し、地域の文化を育てる支援をするとともに、音楽をとおしての仲間づくりの場にする。

ニューイヤークンサート

日頃より活動をしているアマチュアの音楽愛好家に成果発表の場を設け、音楽を通して地域の人々との交流の場にする。

【成 果】 サマーライブ

前年度までは、前半をダンス・舞踊、後半を音楽のジャンル分けにしていたが、今年度はダンス舞踊と音楽を交互にする演出に変更した。幕開を鶴嶺中学校吹奏楽部にしたところ、我子の演奏を見守る保護者で満席状態のスタートだった。その後も来館者は途切れることなく、最後の合同セッションまで空席なくコンサートが続いた。

ニューイヤークンサート

初出演の4組を含め、前年度より2組多い27組の個人・団体が熱のこもった演奏を行った。今年度も演奏のジャンルは幅広く、毎回参加している団体は、日々の練習の成果が発揮でき、年々技量が向上してきている。

年明けから準備したプログラムは、想定以上に捌け、毎年この音楽祭を楽しみにしている人が多いのではと予想される。ただ、26日(日)は午前中が雨模様で来館の出足が少し鈍く、客席に少し空席があったことが残念であった。

日 時	内 容	参 加 者
8月24日(土) 13:00～16:15	サマーライブ ★ダンス・舞踊の部 ダンスサークルフラッシュ(ダンス) 寒川東中学校家政部(日本舞踊) 鶴嶺高校チアリーディング部(チアダンス) ★音楽の部 茅ヶ崎北陵高校軽音楽部(バンド演奏) 萩園中学校合唱部(合唱) 鶴嶺クラニッヒウィンズ(吹奏楽) Duo Garbo(サックス演奏) 佐藤 良幸(ギター弾き語り) 鶴中学校吹奏学部(吹奏楽)	延べ220人
1月25日(土) 13:00～16:15	ニューイヤークンサート ★1月25日(土) エストレージャス(南米民族音楽) ウクレレてらこや(ウクレレ演奏) 鶴嶺フラウエンコール(女声コーラス) 佐藤 良幸(ギター弾き語り) 萩園中学校合唱部(合唱) yuru yuru(ウクレレ演奏) 茅ヶ崎交響楽団(小管弦楽アンサンブル) ザ・シューケンズ(バンド演奏) ジャス・ちはる(松山千春歌まね) オカリーナ湘南(オカリーナ演奏) 高木 薫(クラシックギター演奏) アルファギタークラブ(クラシックギター演奏)	延べ299人

1月26日(日) 13:00～17:00	★1月26日(日) ハレアカラ(ハワイアン演奏) ウクレレくらぶ(ウクレレ演奏) 湘南和太鼓(和太鼓演奏) ギタークラブドルチェ(クラシックギター演奏) Bell Cheka(ミュージックベル演奏) フォークを歌おう(フォークソング演奏と歌) 21倶楽部(クラリネットアンサンブル) マリブルレー湘南(ハーモニカ演奏) シルバーストリングス(ソプラノ・アルトサックス・ピアノ演奏) 混声合唱団 蕾(合唱) 高橋佳年子(クラシックピアノ独奏) ゆうとびあ(PPMコピーバンド) Duo Garbo(サックスアンサンブル) ブルスカアンサンブル(サックス5重奏)	
-------------------------	---	--

イ 日本の歳越し

【目標・目的】 古くから伝わる日本の伝統行事を年末に体験することを通じて、その伝統を次の世代に継承するとともに地域の絆を深める。

【成 果】 山形いも煮

山形県の冬の風物詩の山形いも煮を、昨年までの餅つき大会に替わり実施した。おはよう朝市会が前日の朝より仕込みを始め、市防災対策課から借用した大鍋にいっぱいはいも煮を、8日(日)当日の10時に萩園中学校ボランティアの手伝いで来館者へ振る舞った。

しめ飾りづくり

三翠会から材料の藁を提供していただき、萩園笑寿会の指導の元、しめ飾りをそれぞれに作った。昨年より参加者を6～7人のグループ分け、各グループに笑寿会のしめ飾りづくりに精通した指導者が1人張り付き、個々に指導をした。

日 時	内 容	講師・協力	参 加 者
12月8日(日) 10:00～13:00	山形いも煮	おはよう朝市会	160人
12月8日(日) 13:30～15:30	しめ飾りづくり	萩園笑寿会	39人

ウ 自然観察 小出川を歩きながら動植物を探そう

【目標・目的】 小出川は市の西側を流れて、相模湾に注ぐ貴重な水と緑の空間を有している。新湘南国道建設など開発が進み、少なくなった鶴嶺の自然が残る地元の小出川周辺には、毎年多くの野鳥が飛来する。動植物の観察をととして自然の大切さを学ぶ。また、親子の絆や交流を深め、子どもたちの健全な育成を図る。

日 時	内 容	講 師	参 加 者
2月22日(土) 9:30～11:30	小出川川縁および付近の畑など、身近な自然環境の中で、バードウォッチングを始めとした、野鳥、植物、昆虫等、冬場によく見られる動植物の観察。 ※雨天及び降雪の場合は、公民館で生き物のお話を予定。	岸 一弘 (市景観みどり課)	※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を中止

エ 卓球解放

【目標・目的】 身近な卓球を気軽にできるよう卓球サークルの協力の元、講義室を卓球場として開放する。

【成 果】 小学生からシニア世代、親子づれと幅広い年齢層の参加があり、卓球サークルの指導で、活気のある卓球開放になっている。

日 時	指導サークル	参加者
第2、第4日曜 10:00～12:00	○つるみね卓球同好会 ○えぼし ○すみれ会 ○さつき	延べ275人 ※2月23日、3月22日は 新型コロナウイルス感 染拡大防止の観点から 開催を中止

オ 夏休み子ども作品展

【目標・目的】 夏休みサークル体験で作成したそれぞれの作品をロビーに展示し、サークル体験の学習成果を発表するとともに、小学生の力作を来館者に鑑賞してもらうことを目的とする。

日 時	サークル	内容
7月30日(火) ～ 8月31日(土)	○鶴嶺パソコンクラブ ○泉会 ○絵手紙の会 ○鶴嶺てんこく会	パソコンで作成したメモ帳 書道 絵手紙 消しゴムはんこ、てんこく印

(4) 社会的要請課題をテーマとした事業

ア 遊々クラブ

【目標・目的】 引きこもりがちなシニア世代が明るく希望を持って生活するためには、個人の自助努力が必要となる。外出や趣味を持つ機会の少ない高齢者に、気軽に参加できる体験の場を提供することで、社会参加活動のきっかけ作りをサポートする。講座を企画するうえで、普段公民館を利用していない、また関心がなかったシニアの方々をどう取り込んでいくかに焦点を当てている。

【成 果】 **4月講座「マイクロバスで行く！武蔵野の春」**
 武蔵野の面影が残る広大な園内は、植物の種類ごとに30のブロックに分かれ、360度どこを向いても美しい景色に彩られていた。遅咲きの桜や、つつじ、珍しい山野草など、ガイドさんの説明に耳を傾けながら、ルーペを持参して観察をする参加者や、質問する参加者など、熱心に散策を楽しんでいた。個人で見学する機会が少なく、民間の旅行会社ではまず組むことのない天文台、大沢の里は公民館ならではの企画と好評であった。

5月講座「ぶら～っとあるこう 浜見平から柳島」

パネルやオリジナルの地図を使った田中氏（遊々クラブスタッフ）と藤間家の学術調査に情熱を傾ける富永（社会教育課）の解説は、わかりやすく、参加者に好評であった。さらに関心を持ち、田中氏には「ちがさき丸ごとふるさと発見博物館」についての質問があり、富永（社会教育課）には藤間家への再訪を約束するなど、茅ヶ崎の歴史への興味を深めるに十分な効果があった。

6月講座「カリカリ梅を作ろう！」

カリカリ梅は基本自分のものを作るが、梅の種取りは2人一組で行った。共同作業で会話も弾み、皆さん楽しんでいかれたようだった。スタッフの協力もあり、和やかに進行し、予定時間内に終了することができた。

7月講座「転倒予防チェックをして体を動かそう！」

ご指導いただいた伊豆山氏は、子どもから一般成人、県立養護学校、介護施設と、活動の幅を広げ、各対象に適した運動を提案、実践されている。昨年好評であったので今回もご指導をお願いした。転倒予防チェックシートで、各自機能低下しているところを知ることができ、自覚しながら取り組む体操は、大変有効であった。

9月講座「お菓子を作しましょう！」

身近にある材料にひと手間加えるだけで、洋菓子店で販売されているようなフロランタンができ上がり、参加者には好評だった。講師の千葉氏は、健康と安全を考慮しつつ、料理をすること、食べてもらうことをご自身が楽しんでおられる。その雰囲気が参加者にも伝わり、事業目的である参加者同士の交流、豊かで楽しい活動に繋がった。

10月講座「和菓子を作しましょう！」

掌に包み込み、ころころと回しながらの形成は皆思うようにいかず、試行錯誤していた。講師の「柿をイメージして…、もみじをイメージして…、どちらから色づきますか～？知ってますよね～」と声がかかる度に笑い声が溢れ、和気藹々と進行した。

「菊・柿・もみじ」を製作し、家族に友人に見せたいと、作品として大切にお持ち帰りになった。遊々クラブの次回事業を紹介したところ、講座で知り合った方々が声を掛けあってまた申し込みをして下さっている。遊々クラブの仲間作り、生きがい作りへの支援へとつながっていると期待したい。

11月講座「七宝体験 自分だけのアクセサリ」

銀箔を細かくちぎったり、講師が用意した星や三日月の銀箔で、各自イメージを膨らませたり、初めてとは思えないような作品が完成した。粉末の釉薬をのせた銅板が、炉から取り出すとガラス質で光沢のある作品となり、熱が冷めてくるとまた色に変化する。その工程に感動する参加者もいた。自分の作品が出来上がると、他の人の作品も気になり、いつの間にか会話が弾み、参加者同士の交流も盛んに行われていた。参加者の機運も高まり、今度は初級から中級へ、七宝の技法は多種あり、次回へと繋がる講座と期待したい。

12月講座「干支の切り絵にチャレンジ」

外側を先にカットしてしまうと、下絵と色画用紙がバラバラになってしまうので注意が必要であったが、全員失敗することなく作品作りができた。図案が小さく細かいカットが多かったため、参加者はかなり苦戦していたが、アンケートでは「難しかったが楽しかった」と答えている。ご指導いただいた小山さんが色紙をたくさん用意してくださったので、自由に好みの色合わせを楽しみ、出来上がった作品はオリジナリティーがあり、満足度の高い作品となっていた。

2月講座「寒仕入 手作り味噌」

一度は作ってみたかったという手作り味噌、作ってみれば意外と簡単であることがわかる。昔は各家庭で作っていたのだと思うと、あらためて日本の発酵文化のすばらしさを実感する。参加者同士も、一日一杯の味噌汁が健康によいこと、アンチエイジング効果があることなど会話が弾んでいた。手作り味噌なら更に安心だという声も上がっていた。今回の講座の成果につながる声やアンケートの回答が多くあった。

日 時	内 容	講 師	参 加 者
4月17日(水) 8:30～16:30	4月講座「マイクロバスで行く！武蔵野の春」 神代植物園・国立天文台三鷹キャンパス ・星と森と絵本の家	・神代植物公園 ボランティアガイド ・大沢の里ガイドの会	16人
5月11日(土) 9:30～12:00	5月講座「ぶら～つとあるこう 浜見平から柳島」 柳島湊の藤間家周辺をたずねる	富永 富士雄 (市社会教育課) 田中 節夫 氏 (遊々クラブスタッフ)	19人

6月1日(土) 10:00～12:00	6月講座「カリカリ梅を作ろう！」	千葉 光代 氏 (遊々クラブスタッフ)	18人
7月6日(土) 9:30～11:30	7月講座「転倒予防チェックをして体を動かそう！」	伊豆山 アユミ 氏 (遊々クラブスタッフ)	16人
9月28日(土) 10:00～12:00	9月講座「お菓子を作しましょう！」	千葉 光枝 氏 (遊々クラブスタッフ)	18人
10月14日(金) 10:00～12:00	10月講座「和菓子を作しましょう！」	野田 保隆 氏 (遊々クラブスタッフ)	21人
11月9日(土) 13:00～16:00	11月講座「七宝体験 自分だけのアクセサリー」	星野 総和 氏 (日本七宝作家協会副会長)	13人
12月21日(土) 9:30～11:30	12月講座「干支の切り絵にチャレンジ」	小山 綾子 氏 (遊々クラブスタッフ)	11人
2月8日(土) 10:00～12:00	2月講座「寒仕入 手作り味噌」	千葉 光枝 氏 (遊々クラブスタッフ)	12人
3月14日(土) 9:30～12:00	3月講座「トールペイント」	岩佐 初枝 氏 (遊々クラブスタッフ)	※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を中止
合 計			144人

イ 体幹を鍛えるピラティスエクササイズ

【目標・目的】 「健康的にスリムになりたい」「無理せず身体を動かしたい」という人を対象に、リハビリを目的としてドイツで生み出されたピラティスで、年齢や経歴を問わず安全なエクササイズを楽しむ。

【成 果】 参加者は全員女性で、年齢は乳幼児を持つお母さん世代から、シニアまで幅広く関心の高さがみえる。講座は、全くの初心者向けで、無理なく自宅でエクササイズできる内容から、民間のピラティス講座で学ぶ少々高度の内容まで、ピラティスの基本動作を学んだ。講座終了後も数名が残り、先生に色々な質問をしており、充実した講座であった。

日 時	内 容	講 師	参 加 者
4月18日(木) 10:00～11:30	幅広い年齢層を対象に、ゆったりとした動きと腹式呼吸を用いたピラティスエクササイズの基本動作を習得して、自宅で実践できるようにする。	小松 千春 氏 (ピラティス インストラクター)	22人

ウ ロコモティブシンドローム予防ストレッチ

【目標・目的】 運動不足やスポーツの怪我が原因で筋力が低下すると陥りやすいロコモティブシンドロームを予防するため、ストレッチをして筋量を増やすことを目的とする。特に高齢者において要支援・要介護に至る前の健康寿命をいかにして長く保つかという視点からも、同シンドロームの予防は健康寿命延長の大きなファクターとなりう

ることから、参加者の積極的な取り組みを期待する。

- 【成 果】 本事業は大島先生に継続して開催していただいております、毎回、参加者の方々から好評な講座となっている。今回も当館の活動サークルであるAステップの皆様のご協力のもと、かなり充実したメニューを実施していただけたと思う。参加された方からは「自宅でも気軽にできそう」、「適度な運動と講義がわかりやすかった」「わかりやすくおしえていただいた」といった感想もいただき、ロコモ予防の大切さをより実感していただけたのではないかと感じる。また、参加者より、次回も参加したい等継続開催の要望もあり、今後も継続して本事業を開催していくことで、日々のセルフケアが重要であることを多くの方に理解していただけたら良いと感じている。

日 時	内 容	講 師	参 加 者
4月23日(火) 10:00～11:30	ロコモティブシンドロームの基礎編として、ロコモティブシンドロームとは何かから始まり、その概念、予防するための知識等の説明に引き続き、ボールを使った体操等を行い、毎日の生活で行えて楽しく筋力を鍛えられるプログラムとなった。	大島 みどり 氏 (健康運動指導士、 介護予防指導士)	12人

エ 癒やしのハーブ

- 【目標・目的】 昔から、健康で豊かな生活を送るための一つとして、ハーブが常用されてきたと言われている。ストレスの多い現代社会において、改めて自然が作り出す恵に触れ、花や葉の持つ自然の力を体感し、暮らしに役立つハーブの基礎知識を学びたい。

- 【成 果】 平成28年度からの継続事業であり、いずれも申し込み開始早々に定員になる人気の講座だった。ハーブの魅力は実に幅広い年代に受け入れられ、様々な作品や料理、飲み物にも活用され、年々人気は高まっている。それに応えるように、講師の大島さんは毎回新しい作品を紹介くださり、参加者の要望を満たしてくれた。特に、若い世代の参加者は、日頃の忙しさを忘れ、ハーブの良い香りに癒されているようだった。また、自分の作品を我が子のように大切に持ち帰る姿も見受けられ、本講座の目的は達成されたと思う。

日 時	内 容	講 師	参 加 者
5月10日(金) 10:00～12:00	1 回目 ハーブのお話とハーブを使った小さな フラワーアレンジ作り	大島 和子 氏 (アップルミント倶楽部 代表)	15人
9月12日(木) 10:00～12:00	2 回目 ハーブのお話とアロマ香るエッグポマ ンダー作り		15人
11月13日(水) 10:00～12:00	3 回目 ハーブのお話と額 飾るハーブ&スパ イス作り いずれの回も、季節に合わせたハーブ ティを飲みながら会話を楽しむ		14人
合 計			延べ44人

オ 普通救命講習会

【目標・目的】 救急車が到着するまでの空白の5分間に備えて、応急手当の知識や技術を身につけ、万が一の時に備えることを目的とする。

【成 果】 受講生の受講態度は、前期後期ともに真剣で、積極的に実技に臨み、活気にあふれたものであった。受講が即現場での実践に結びつくとは限らないが、AEDの存在や使用方法を知り、心肺蘇生法や止血法、異物除去法を実技講習することで、『いざ!』という時に命を救うことができる大切な講座だと思われる。

日 時	内 容	講 師	参 加 者
5月18日(土) 13:30～16:30	茅ヶ崎市消防職員、応急手当普及員による心肺蘇生法、AEDの使用方法、止血法、異物除去法の実技講習を3時間行った。	茅ヶ崎市消防職員 応急手当普及員	14人
9月29日(日) 9:00～12:00			15人
合 計			29人

カ 振り込め詐欺防止講座

【目標・目的】 悪徳商法や振り込め詐欺の被害が絶えず、手口はますます悪質・巧妙化している。茅ヶ崎市は、被害件数及び被害金額は、昨年度に比較して減少傾向にあり、最近には特に架空請求や不当請求等の被害が増加しており、依然として「自分は大丈夫」と思っている消費者が被害に巻き込まれるケースが多く見受けられる。このような状況の中、詐欺や悪質な手口で契約をさせようとする業者や商法から自らを守ることができる消費者を育成することを本講座の目的にしている。また、公民館利用者懇談会で開催を広報して、公民館利用団体内での情報の共有、口コミによる情報拡散を期待し、悪徳商法・振り込め詐欺の未然防止と早期発見につなげる。

【成 果】 利用者懇談会で参加を依頼したが、当日参加3人、サークルから5人、一般申込み4人の合計12人の参加で開催となった。参加者からは、満足・大体満足という意見が多数を占め、具体的な話を聞けるいい機会を提供できたと思われる。

日 時	内 容	講 師	参 加 者
6月26日(水) 10:00～11:30	茅ヶ崎警察署生活安全課職員から、振り込め詐欺の手口、被害状況、対策についてDVD映像を交えた説明と、市民相談課職員から悪徳商法及び契約時の注意事項について、資料を基に説明。	茅ヶ崎警察署生活安全課職員 安全対策課職員 市民相談課職員	12人

キ フレイルチェック

【目標・目的】 本市の市民の4人に1人以上が65歳以上の高齢者であり、超高齢社会に即したちづくりを行うことが喫緊の課題となっている。働き方や社会参加、地域におけるコミュニティや生活環境の在り方、高齢期に向けた備え等の意識改革をしていく必要がある。健康寿命を延ばし、住み慣れた地域で長く暮らせる環境をつくるための施策の一つとして、フレイルチェックを行い、高齢者自身の健康状態の「気づき」の場を創出し、早期からのフレイル予防を促す。

【成 果】 健康診断とは異なる視点で、自分の健康状態を確認することに、参加者と、それをサポートするボランティアが熱心に取り組み、「自分で気づいて早めに予防」の趣旨に沿ったものとなった。

日 時	内 容	講 師	参 加 者
7月9日(火) 10:00～12:00	東京大学で開発されたプログラムを活用し、高齢者自身のフレイル（虚弱化）の状況を楽しみながら自分の健康状態をチェックする。指輪っかテストやテキストを使いながら、いつまでも健康にいたためのコツを学ぶ。フレイル予防につながる重要なポイントは、健康長寿の3つの柱である栄養と運動と社会参加を自分自身のやりやすい形できちんと継続することである。	市高齢福祉介護課職員 フレイルサポーター ボランティア	13人

ク 今さら聞けないスマホ講座

【目標・目的】 スマホはシニア世代にも普及し始めたが、基本的な使い方が分からず思うように使えていないシニアが多い。携帯電話会社のショップはそんなシニアで混雑しており、足が遠のいているのが現状である。今さら使い方を教えてもらうこともできない人たちを対象に、スマホの基本の講座を開催する。

【成 果】 参加者は60歳代から80歳代のスマホ初心者であり、スマホの各部名称や文字入力など基本操作からの説明で、初歩的な内容が理解できたと思われる。講師による一方的な説明ではなく、アシスタントをOS別に配置したことにより、全員が説明に取り残されることなく講座を進めることができた。
参加者のスマホ習得レベルに少しバラツキはあったが、満足度が高い結果であった

日 時	内 容	講 師	参 加 者
9月 3日(火) 9:30～12:00	スマホを購入したが基本的な操作を理解していない高齢者を対象に、初歩からの基礎講座として開催。パソコンボランティア湘南には、アンドロイド、iPhone別のテキストを準備していただき、講師の操作説明に合わせ、それぞれのOSにアシスタントを2名ずつ配置して、参加者の疑問、質問に対応した。 ・スマホの基本操作 ・インターネット ・Eメール、ショートメール ・LINE、他のアプリ	パソコンボランティア 湘南	16人
9月 4日(水) 9:30～12:00			16人
9月10日(火) 9:30～12:00			14人
9月11日(水) 9:30～12:00			13人
合 計			延べ59人

ケ 楽しく行う認知症予防「コグニサイズ」

【目標・目的】 認知症の予防が社会的課題になっている今、楽しんで日常に取り入れられる認知症予防運動「コグニサイズ」。脳は、使わないと衰える。そこで、普段とは違う運動をしながら、頭を働かせることで、脳を活性化させ、認知症の発症を防ぐことを目標とする。

【成 果】 「広報紙」と「情報つるみね」で知って参加された方が18人、利用者懇談会からは4人だった。講座の満足度は、満足15人・大体満足4人と満足度が高く、感想は、楽しく動けた15人、スッキリした6人、身体が軽くなった5人と少し難しかった7人という意見があった。また、楽しく参加できた、次回も参加したいとの意見あり、来年度も継続して開催したいと考える。

日 時	内 容	講 師	参 加 者
10月13日(日) 13:30～15:30	国立研究開発法人国立長寿医療研究センターが発行しているレジメを基に「コグニサイズ」の内容説明と認知症予防の説明を行っていただき、実技は、「コグニウォーク」・「コグニラダー」を実施した。	石濱 司 氏 (日本健康運動士会 神奈川県支部理事)	22人

コ 「わたしの覚え書き」講座

【目標・目的】 自分の意思を示すことができなくなった時にも自分らしい生き方を選択できるように、介護が必要になった時、終末期医療が必要になった時、亡くなった後のことなど、身近な人に伝えておくべきことを書くために市が作成した「わたしの覚え書き」の書き方を伝える。

【成 果】 75歳以上の方が半数を占め、まず、第1部で行政書士からの「遺言と相続について」のお話があり、覚え書きの大切さが十分に理解されたうえで、第2部として、実際の覚え書きの記入方法になるので、覚え書きを作成する行動へのきっかけづくりとなった。

日 時	内 容	講 師	参 加 者
11月8日(金) 10:00～12:00	司法書士と市保健師が「わたしの覚え書き」の記入方法や用語の意味などを分かりやすく説明する。	司法書士、 市高齢福祉介護課保健師	12人

サ 肩こり・腰痛・膝痛改善運動

【目標・目的】 誰もが経験する急な痛みと慢性的なつらい症状を解消する正しい対処方法を、肩こり・腰痛の専門指導士の立場にある講師から学び、日々の生活を少しでも楽に、そして健康の維持向上を図る。

【成 果】 今回も当館の活動サークルであるラベンダーの皆様のご協力のもと、大変充実したメニューを展開した。参加された方からは「体のしくみがわかった」「普段動かない筋肉を動かすことができた」といった感想もあり、終わった後の程よい疲労感に浸ることができたのではないかと思います。参加者の満足度も高く、今後も継続して本事業を開催していき、多くの方に無理のない運動を継続していただき、健康な身体を保っていただけたら良いと感じている。

日 時	内 容	講 師	参 加 者
10月25日(金) 10:00～11:30	肩こり、腰痛等の原因やその対策、予防の知識等の説明に引き続き、肩こり改善、腰痛改善、膝痛改善の順番で講座を進めた。	大島 みどり 氏 (健康運動指導士、介護予防指導士)	9人

シ つるみね防災講座

【目標・目的】 突然やってくる自然災害（地震、台風、洪水）等の発生時の対応について、情報把握（ハザードマップ）、避難方法、公民館や避難所の利用、地域の連携、災害に対する心構え、防災学習等の知識・技術の習得、災害を乗り越えるための態度の育成、災害に対する意識の高揚を図る。今回は『風水害』に着目し、台風等に対する刻々と変わる避難情報の発令をどのように対処していくのかなど、実際の体験も踏まえ、参加者相互の情報交換を行う。

【成 果】 今回の講座は、『風水害』をテーマとしたが、参加者へのアンケートからも分かるように講座内容に満足されていた。また、講座を受けた感想については、「参考になった」や「理解が深まった」とする回答が多かった。この鶴嶺地域においては、意見・要望からも『風水害』への危機感が高まっていると感じた。

日 時	内 容	講 師	参 加 者
11月29日(金) 14:00～16:00	地域の災害リスクに備えることとして今回は風水害をテーマとして実施した。 講座を開催する直前に台風15号と19号により、実際に大規模な避難所の開設が行われた。2時間の講義は前半を台風19号の避難、被害状況を中心に市防災対策課職員からパワーポイントで説明をおこなった。 後半は、分科会形式として2グループに分かれ、そこに市防災対策課職員が1名ずつ加わり、実際の避難所での状況等について情報交換を行った。	市防災対策課職員	20人

ス 異文化交流

【目標・目的】 市内または近隣在住の外国人を講師として招き、お話・料理などをおして外国の文化や習慣の違いを知り、国際交流を図る。

【成 果】 アンケート回答者17人中14人がリピーターであり、4回以上も5人いらした。市内遠方の東海岸北・南・中島等からの参加もあり、毎年人気が高い講座である。有村スワリさんは、平成28年度のラオスの回にも講師を依頼したが、日タイ文化交流会と日ラオス協会の代表であり、両国の発展のための国際交流活動に熱心で、多くの講演会等の経験がある方である。在日29年で日本語も堪能であり、料理だけでなく後半の食事・懇談会でもタイの現状のご紹介をわかりやすく熱心に話していただいた。

日 時	内 容	講 師	参 加 者
11月21日(木) 10:00～14:00	1. あいさつ、講師および協力メンバー紹介、タイの概要説明 2. タイ料理を実習 グリーンカレー、オカラケーキ、シーフードサラダ、ハーブティ 3. 食事と文化交流の懇談会	【講師】有村スワリ氏（日タイ文化交流会と日ラオス協会の代表） 【協力】チャターボックス	18人

セ 家族介護教室

【目標・目的】 超高齢社会において、高齢者が可能な限り住み慣れた地域でその有する能力に応じて自立した日常生活を送ることが求められている。介護を必要とする人が大幅に増え、介護をする家族の負担が増大している。介護は日々の積み重ねであり、介護者も介護される方も、また、これから介護について学びたい方も含め、介護について学ぶ機会とする。

【成 果】 当初の申し込みは3名であったが、直前で1名のキャンセルと当日の1名のキャンセルがあり、参加者は1名となった。しかし「にこにこクラブ」の会長との一対一の相談となり、親身になっての深い対応ができ、参加者も大変満足して帰宅された。

日 時	内 容	講 師	参 加 者
12月13日(金) 13:30～15:30	認知症を支えるボランティアの会「にこにこクラブ」の会長からの自宅における認知症介護の説明と体験談について、詳しくお話しされた。 また、副題の「ひとりで悩まない認知症介護」とおり、認知症介護をしている参加者から困っていること、悩んでいることなどについて、「にこにこクラブ」の会長からの丁寧な助言が得られた。特に、長期的に見たときの介護をしている人自身の負担軽減方法や気晴らし方法など、詳しい助言が得られた。	寺元 栄子 氏 (認知症を支えるボランティアの会「にこにこクラブ」会長) 高齢福祉介護課職員	1人

ソ スマートフォン入門講座

【目標・目的】 スマートフォン（以下スマホ）は機能の高度化が進み、パソコンの機能をほぼすべて網羅している。高齢者もスマホを始めたいと考える人が増えているが、設定や使い方が難しそうなど、悩んでいる人が多い。また、スマホはウイルス対策がおそろそかになりがちで、高齢者がスマホを使った振り込め詐欺にあうことも増えている。

そこで、基本操作方法・実生活に役立つ活用法・災害対策アプリや高齢者を狙う犯罪手口を学び、高齢者にもスマホを生活に活用できるようにすることを目的とする。

【成 果】 アンケート回答数18人中、『理解できたか』の問いに1人が「少し理解できなかった」との回答であったが、『楽しかったか』と『満足度は』の問いには全員が「普通」以上の回答であった。参加者はスマホ未使用者に限っており、18人中4人は携帯電話も未使用であったが、高齢者のスマホ体験として、何より「楽しんで」スマホを身近に感じてもらえた点で、成果があったと考える。

日 時	内 容	講 師	参 加 者
2月19日(水) 14:00～16:00	参加者にひとり1台ずつアンドロイドスマホを貸し、講師の指示に沿って操作を行った。 【内容】 ① 電源on-off～タッチパネルの操作方法、電話・カメラ・文字入力の方法などの基本操作 ② インターネットの使い方 ③ 各種アプリ（マップ、乗換案内、YouTubeなど）の体験 ④ セキュリティ対策 ⑤ 防災対策アプリ	KDDI(株)スマホ・ケータイ安全教室認定講師	19人

タ キャッシュレス使い方講座

【目標・目的】 クレジットカードや交通系IC、スマホ決済など、最近ではキャッシュレスによる支払い方法が多様化しているが、手続きが面倒ではないのかと、躊躇している方がまだまだ多く見受けられる。キャッシュレス決済とはそもそもどのようなものなのか、どんなメリットやデメリットがあるのか、などを国からの講師派遣制度を利用して、使い方の理解を深める。

日 時	内 容	講 師	参 加 者
3月18日(水) 11:00～12:00	クレジットカードや交通系IC、スマホ決済などにも馴染みがない方を中心に、派遣された講師から、キャッシュレス決済とはどのようなものなのか、主なキャッシュレス手段の解説、さらに、国の支援するポイント還元事業について、詳しい説明をしていただく。	経済産業省キャッシュレス推進室 派遣職員	※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を中止

(5) 学習成果の還元事業

ア 公民館まつり

日 時	内 容	
3月6日(金) 11:00～17:00	・オープニングセレモニー ・体験コーナー（太極拳、リズム体操、吹矢、てんこく、プリクラ・名刺政策、メッセージボード作り、ミニ料理教室、囲碁大会、抹茶の呈茶、折り紙体験、カレンダー作り、おもちゃ作り、昔の遊び など） ・催物発表（合唱と演奏、ダンス） ・展示（絵画、書道、絵手紙、写真、水彩画、ちぎり絵、油彩画。篆刻、水墨画、主催事業の紹介、サークルの紹介、神奈川県立茅ヶ崎養護学校の児童・生徒の作品）	※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を中止
3月7日(土) 9:30～17:00	・バザー、ブックリサイクル、リサイクル家具の展示 ・実行委員会企画 （防災対策講座…『自分の身は自分で守る防災』～台風19号の経験から学ぼう！ 講師：市防災対策課職員）	
3月8日(日) 9:30～15:00	・模擬店（3月8日のみ萩園第3公園にて） ・こどもまつり囃子（3月8日のみ萩園第3公園にて 新田、浜之郷、萩園、今宿の各太鼓保存会） ・フィナーレ（リサイクル家具抽選会、みんなで合唱）	

イ つるみねオープンサークル

【目標・目的】 公民館での日々のサークル活動の成果還元として、サークル活動を公民館利用者に開放し、サークル員が習得した技能を参加者に伝達するとともに、入会希望者を募り、公民館利用者の拡大を図る一助にする。

【成 果】 今年度は、3サークル4講座の開催で、例年より活況な講座開催となった。参加者は少なかったが、それぞれの講座は充実度が高く、体験講座としては参加者の満足度は高かったと思われる。

日 時	内 容	協力サークル	参 加 者
9月26日(木) 14:00～15:00	オカリナ湘南（オカリナ演奏） オカリナ湘南の顧問の樋口先生の指導で、オカリナの吹き方、指孔（トーンホール）の押さえ方を学び、実際に聞き慣れた曲の演奏練習をした。最後は、参加者10人が二班に分かれ、輪唱での合奏を行った。	オカリナ湘南	10人
10月14日(月) 13:30～15:00	嬉多國（みんようの古里演奏会） 菊池先生を中心とした嬉多國に湘南和太鼓のメンバーが加わり、津軽地方の民謡演奏を体験した。菊池先生は山形県のご出身で、お国訛りの解説が場を盛り上げた。	嬉多國 湘南和太鼓	28人
11月23日(土) 10:00～12:00	鶴嶺てんこく会 「消しゴムはんこで年賀状」は年賀状用のゴムはんこを、「てんこく印づくり」は参加者の名前の一文字を作成した。鶴嶺てんこく会の犬伏さんが事前に参加者向けの資料を作成配布しており、各参加者も準備してきており、充実した講座であった。	鶴嶺てんこく会	7人
11月23日(土) 13:00～16:00			10人

ウ ロビー展

【目標・目的】 公民館利用団体の活動内容や成果を、ロビーを活用し作品の場にする。

【成 果】 ロビー展に向けサークル員の制作意欲が増し、年々技術が向上している成果が見られる。また来館者に公民館でのサークル活動の内容を告知する場になっている。

日 時	展示内容	サークル
9月21日(土)～10月 5日(土)	篆刻	鶴嶺てんこく会
10月11日(金)～10月25日(金)	絵画	デッサングループアミーゴ

(6) 公民館ふれあい事業

ア スポーツ吹矢

【目標・目的】 腹式呼吸の要素を取り入れたスポーツ吹矢をととして、加齢とともに衰えていく心肺機能の強化と団体スポーツの競技を楽しむ場にする。

【成 果】 定員20人に対し申し込みが6人、参加が2人の低調な結果であった。2人の参加者には、スポーツ吹矢鶴嶺のメンバーがマンツーマンで指導を行い、約1時間30分の間、矢を吹き続けた。指導者が都度アドバイスをしたことと、矢を吹く回数が多かったことにより、参加者2人は短時間で技術を習得した。

日 時	内 容	講 師	参 加 者
6月16日(日) 10:00～12:00	競技としてのスポーツ吹矢の基本動作と礼儀および健康面からの呼吸方法をスポーツ吹矢鶴嶺のメンバーから指導を受け、(社)日本スポーツ協会の競技ができる基本を参加者が体験した。	スポーツ吹矢鶴嶺	2人

イ 高尾山をめざそう

【目標・目的】 山には豊かな生態系や歴史をはじめ、ここでしか出会えない魅力が隅々にまで息づいている。標高599mの高尾山は、決して高い山ではないが、懐の深い、存在感の大きな山である。フランスの日本旅行ガイド「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」では、山で3つ星に認定されたのは富士山と高尾山だけであった、東京から近く、大自然を味わえ、かつ比較的簡単に登れるというのが世界一登山客の多い山になった理由でしょう。山登りは登って下り、普段使わない筋肉を長時間使い続けるため筋肉痛になる。日頃から登山に向けて体操などをして、体を動かし筋肉を良くほぐし、体調管理を心掛け、健康な体を維持することが目標となる。

また、事業終了後に参加者同士の交流が生まれ、サークル化し、個人だけであった活動が地域での活動に変容し、社会教育として「つなぎ」そして「広げる」ことを目的とする。

【成 果】 参加者は男性5名、女性11名。高齢者の参加者が多かった。指導員による登山のスタート時や休息後においても注意事項の説明や準備体操を行った。個々の登山ペースに気を配りながら、おおむね2班体制で軽登山を行うことができた。随時、水分補給の休憩時間を設け、負傷者無く、予定された行程を順調に終えることができた。参加者15名からアンケートを集計でき、全体の満足度は12人が満足、3人がほぼ満足であり、事業としては大変好評であった。

日 時	内 容	講 師	参 加 者
5月13日(月) 9:30～16:30	天候に恵まれ、新緑の中の軽登山を開催できた。今回の小仏峠登山口からの起伏が多く、足場の悪いコースであったが、おおむね2班に編成し、休息を取りながらの楽しい登山となった。スタッフは、指導者2名と職員3名体制の全5名体制。	佐野 明 氏 (ボランティア指導員)	16人

ウ 神奈川散策 ～神奈川のもうひとつの茅ヶ崎を歩く～

【目標・目的】 神奈川県内に点在する名所、遺跡、景観地を散策し、地元の自然や歴史を再発見する機会にする。また散策を通して、参加者同士の交流の場にする。

【成 果】 横浜の茅ヶ崎辺り一帯は、1965年の「横浜市六大事業」に位置づけられた開発事業で、横浜市営地下鉄を中心に開発されてきたニュータウンであり、茅ヶ崎市と同じ地名ではあるが、街並は新旧といったところである。参加者には、この横浜の茅ヶ崎の認知度は低く、興味深い散策であったと思われた。またふたつの城址についても、横浜に城（曲輪）があったことが新しい知識になったようである。

日 時	内 容	講 師	参 加 者
5月17日(木) 10:00～15:00	横浜市都筑区に茅ヶ崎市と同名の茅ヶ崎（”ヶ”は大文字）の地があり、茅ヶ崎の地名の由来や歴史を探訪した。当地には室町時代に創建された茅ヶ崎城の址があり、当地の近くにあったとされる小机城址と茅ヶ崎城址を散策し、中世の城や戦の方法を学んだ。	廣田 秀行 氏 (ちがさき丸ごと ふるさと発見博物館ガイド)	15人

エ つるみね名画座

【目標・目的】 市立図書館では“上映権付き”DVDを多数所有しており、市内の公的団体に貸し出しを行っている。タイトルは古いものが多いが、個人では借りることができないこれを有効活用し、近隣の映画ファンに大画面で見る機会を提供し、参加者同士の交流の場を作る。

【成 果】 作品によって増減がみられ、また天候にも左右された（第2回は台風接近）。満足度は3回合計で、有効回答数62人中大体満足と満足が61人（98%）であり、意見・感想でも好意的な記述がほとんどであった。また、有効回答延べ64人中58人（91%）が70代以上であり、普段映画館まで足を運ばないお年寄りが楽しみにしてくれていることがわかる。
この企画の定員は、会場の収容人数一杯の各回60人としており、これに対する参加者数ではかなり不足に思えるが、「公民館ふれあい事業」として参加者の期待は高く、今後も継続していくべきと考える。

日 時	内 容	参 加 者
5月15日(水)	誰がために鐘は鳴る	28人
9月18日(水)	東京物語	28人
1月15日(水)	私を野球に連れてって	20人

オ 陶芸教室

【目標・目的】 主に初心者を対象として作陶と絵付けを体験してもらい。同じ趣味趣向をもつ人達の自己実現と参加者同士の交流の場を提供する。

【成 果】 昨年に続き小学生から一般までを対象に実施したが、東魚先生の指導は参加者個々が自由に作品製作を楽しめるように、陶芸の基本を伝えた後は細かい指導はせず、3人のお弟子さんと一緒にテーブルを巡回し、それぞれの質問に応えたり、苦戦している参加者を手助けしたり、和やかな講座になった。

日 時	内 容	講師・協力者	参 加 者
5月19日(日) 10:00～12:00	佐藤東魚先生の指導のもと、参加者が個々に作品を製作した。 今回も題材は自由にし、東魚先生がいくつかのサンプルを呈示し、それを参考にカップ、皿、茶碗などを1日目にロクロを使って成形し、2日目に絵付けを行った。	佐藤 東魚 氏 (陶芸の館主宰)	24人
6月 2日(日) 10:00～12:00			24人
合 計			延べ48人

カ 木版画教室

【目標・目的】 パソコンで画像も簡単に取り込める現代、あえて木版画に取り組み、手刷り版画のよさを体験する。個人作業ではあるが、刷り上った作品の鑑賞や体験を通しての感想を語り合い、対話のある講座にしていきたい。

【成 果】 版木サイズが(300×220)mmと大きかったため、彫る範囲が広くなり、初心者には時間もかかり大変だったようだが、最終日には全員の作品を鑑賞することができた参加者の刷り上った作品は、下絵は同じだがそれぞれの個性がでて、興味深く、参加者同士の会話も弾んでいた。居住地域も広範囲に亘り、交通手段の不便な中、欠席者も少なく、熱心に取り組んでいたのは一定の成果があったものと思う。

日 時	内 容	講 師	参 加 者
第1回 5月 8日(水) 10:00～12:00 5月22日(水) 10:00～12:00 6月12日(水) 10:00～12:00 6月26日(水) 10:00～12:00 7月10日(水) 10:00～12:00 7月24日(水) 10:00～12:00	多色刷り 浮世絵の伝統的刷り方を学ぶ。 下絵のとり方は、現代は直接カーボン紙で写し取るほうが多いが、あえて和紙に刷り込む技法を体験。主版(おもはん)と見当(けんとう)を和紙に刷り取ったものを版木に刷る「刷り返し」に挑戦した。 ・第1回5～7月講座(全6回)で2種類の版画を制作。 ①彫刻刀の使い方、使い分けと効果を学ぶ ②荒彫りから背景の彫り方、細部の彫り方、板ぼかし ③摺り ④一版刷りと手彩色	高橋 孝夫 氏	第1回全6回 (5/8～7/24) 延べ97人

第2回			
9月11日(水) 13:00～15:00	・第2回9～11月講座（全6回）は、5～7月に実施した講座の補充講座として、継続希望者に実施。		第2回全6回 (9/11～11/27) 延べ70人
9月25日(水) 13:00～15:00			
10月 9日(水) 13:00～15:00			
10月23日(水) 13:00～15:00			
11月13日(水) 13:00～15:00			
11月27日(水) 13:00～15:00			
合 計			延べ167人

キ 七宝入門

【目標・目的】 七宝は「一度やってみたいが経験できる場がなく、また陶芸より難しそう」と感じている人が多いようである。初心者でも比較的簡単にできる“平脱技法”によるアクセサリー作りの講座を企画した。手作りの楽しさを味わい、my アクセサリーを仕上げるとともに、同じ趣味趣向を持つ人たちの交流を図ることも目的とする。土曜日開催・託児ありとして、日頃公民館に来られない若年層にも参加しやすい講座とする。

【成 果】 （大体満足＋満足）が14人中12人と、きれいなmy ペンダントが完成して満足された様子。満足度（普通）1人は「釉薬がうまく延ばせず難しかった」、（やや不満）は親子で参加の小6女子であった。周りが大人だけで楽しくなかったのか？（楽しかった）13、（作品ができてうれしい）8、（会話がはずんだ）4と、参加者同士の交流や、my アクセサリーを手作りする楽しさを味わうという目的は達成できたと考える。

日 時	内 容	講 師	参 加 者
9月14日(土) 13:00～16:00	七宝のペンダントを製作した。 手順は ① 銅板を切り出し裏に釉薬を焼き付け ② 表面の酸化銅を酸洗いで除去 ③ ベースとなる色の釉薬を全面に載せて焼き付け ④ ベースの上に小さい銀箔をいくつか糊で貼り焼き付け ⑤ 銀箔上に任意の色釉薬を載せ焼き付けて完成。 手順②まではあらかじめ講師が準備しており、手順③～を講師の実演・指導のもとに参加者が作業した。全員、予定時間内に作品を完成し、持ち帰ることができた。	早野 総和 氏 (日本七宝作家協会副会長)	14人

ク 古典文学講座

【目標・目的】 日本の古典文学「源氏物語」を紐解き、平安時代の貴族社会の文化・習慣・ものの見方に触れる。

【成 果】 今年で17年連続して開催されている講座である。特筆すべき点は、参加者の居住地域が鶴嶺地区だけでなく広域に渡ることと、10回以上ほぼすべて参加している受講者が全体の30パーセントを超えていること、満足度が高いことである。主催事業として次年度も継続したい講座である。

日 時	内 容	講 師	参 加 者
9月 8日(日) 13:30～15:30	『源氏物語』の時代背景 注釈付きの原文を 王朝貴族特有の敬語 や繰り返し使われる言葉に注目しながら 読み解いていく。 第1回 光源氏と藤原道長 第2回 浮舟の母と継父常陸介	池田 節子 氏 (駒沢女子大学教授)	33人
9月15日(日) 13:30～15:30			36人
合 計			延べ69人

ケ 初めてのノルディックウォーキング

【目標・目的】 健康いきがいくりのため、健康増進運動であり、フレイル予防として効果のあるノルディックウォーキングを初体験する。ノルディックウォーキングは、2本の専用ポールを使ってウォーキングする全身運動で、足腰への負担が軽く、効果の高いフィットネス運動で、背筋が伸びて姿勢が良くなります。カロリー消費が通常のウォーキングよりも30～40%ほど引き上げることができ、体脂肪を効果的に消費させることができるスポーツである。基礎体力作りや生活習慣病対策、さらにダイエットに効果を期待する。

【成 果】 参加者は男性1名、女性4名で高齢者の参加者が多かった。この講座が、杖ついて歩くことから、足腰の悪い高齢者のためのリハビリ運動に思われ、応募者が非常に少なかった。ただ、実際の運動はスポーツそのものであり、指導者の指示どおりの運動をこなすとハードなものであった。全体的には、休憩時間を設け、負傷者も無く、変更後のカリキュラムを順調に実施することができた。
アンケートからも、参加者全員が「機会があれば、またやってみたい」と答え、満足できた事業であったと感ずる。

日 時	内 容	講 師	参 加 者
10月3日(木) 10:00～12:00	全2日のカリキュラムを台風の進路予測があり、事業を前倒しして、1日コースで実施した。1時間を講義にあて、後半を隣の公園で準備運動を行い、秋日和の小出川を国道1号付近まで、少し早歩きウォーキングを行った。	亘 征子 氏 (湘南茅ヶ崎ノルディック 同好会代表)	5人
10月4日(金) 10:00～12:00	当初計画： 1日目 講義室にて、講義、DVD視聴等 2日目 小出川散策ウォーキング	布井 邦昭 氏 河村 静男 氏 (湘南茅ヶ崎ノルディック 同好会)	※10月4日は、 台風の進路予測 のため中止
合 計			延べ5人

コ 鎌倉歴史散策 ～鎌倉七口大仏切通から長谷を歩く～

【目標・目的】 歴史的な社寺、豊富な自然に恵まれた身近な鎌倉の観光地化していない史跡を散策し、神奈川・鎌倉の歴史を知るとともに、参加者同士のふれあいの場にする。

【成 果】 2度の延期後、3回目で開催できた。2度の延期で31人の参加申し込みに対し、13人の参加にとどまったが、少人数だったこともあり、ガイドの廣田さんの説明も聞きやすく、参加者同士の交流が深まった。台風19号の影響で、鎌倉市内の全てのハイキングコースが通行禁止になったが、幸い到大仏切通は通行可能で予定通り散策し、極楽寺駅で解散した。

日 時	内 容	講 師	参 加 者
11月7日(木) 10:00～14:00 ※10月11日(金)延期 10月18日(金)再延期	鎌倉七口の大仏切通から、能楽の定席の鎌倉能舞台、花の寺日蓮宗光則寺、あじさいの名刹成就院、極楽寺切通を抜け、江ノ電極楽寺駅までを散策した。	廣田 秀行 氏 (ちがさきまるごと 発見博物館ガイド)	13人

サ 基礎から学ぶ陶芸教室

【目標・目的】 主に初心者を対象として作陶と絵付けを体験してもらい、同じ趣味趣向をもつ人たちの自己実現と、参加者同士の交流の場を提供する。昨年参加対象を小学生から一般としてきたが、小学生とその保護者の参加が多く、一般成人の参加が少ないため、小学生対象と切り離し開催することにした。

【成 果】 参加者が5人と、今までの参加者数を大きく下回ってしまったが、東魚先生とアシスタントの方の2名の懇切丁寧な指導と、少人数特有なアットホームの雰囲気、参加者同士の交流もあり、参加者にとっては有意義な講座であったと思われる。

日 時	内 容	講 師	参 加 者
11月 3日(日) 10:00～12:00	これまでの佐藤東魚先生の講座は、受講者の陶芸経験に関係なく自由に作品製作をしていたが、今回は初心者の参加を前提に、「基礎から学ぶ陶芸教室」と銘うって、ロクロの基本的な使い方から学ぶ内容にした。	佐藤 東魚 氏 (陶芸の館主宰)	5人
11月17日(日) 10:00～12:00			5人
合 計			延べ10人

シ 神奈川の旧東海道を歩く(神奈川宿)

【目標・目的】 江戸から京・上方への大動脈であった東海道を歩きながら史跡に立ち寄り神奈川県内の旧東海道の歴史と役割に触れる。

【成 果】 前年に続き、NPO法人かわさき歴史ガイド協会にお願いし、参加者10名を二班に分け昼休みを含め、約4時間30分、横浜駅西口までを散策した。この当たりの旧東海道は、見過ごしてしまいそうな幕末から明治にかけての史跡が続いており、ガイド協会の方は流石に知識が豊富で、小グループでの散策は説明が聞き取りやすく有意義であった。

日 時	内 容	講 師	参 加 者
11月15日(金) 10:00～14:30	京急鶴見駅から神奈川宿を横浜駅まで歩いた。当該エリアは、生麦事件の碑やヘボン式ローマ字のヘボン博士の診療所跡、アメリカ領事館跡など、幕末から明治にかけての歴史に刻まれた史跡が多く、日本が武家政治から近代政治に向かう移り変わりを感じとれた。	NPO法人 かわさき歴史ガイド協会	10人

ス つるみね健康レストラン

【目標・目的】 変化し続ける食生活の中で健康的な立場から食生活を考え、健康の維持増進のため市保健所健康増進課、茅ヶ崎市食生活改善推進団体ばら、公民館が連携して「おいしく 楽しく 健康に！」をメインテーマに講義と調理実習を行う。

【成 果】 栄養士による講義の後、調理実習に入った。参加者から講義について、「具体的でとても分かり易かった」「今後はお話された内容を参考にしたい」との声があり、講義と実習のセットで開催することの大切さを実感できた内容だった。
「おもてなし料理」というと「おせち」が主なので、毎年同じ様なメニューになってしまう。そこで、こちらから新しいメニューを取り入れてもらった。食改さんは新しいメニューを習得するため、3回のリハーサルを重ね本番に臨んでくれた。いつも事業の成功のために力を貸してくださる茅ヶ崎市食生活改善推進団体に感謝したい。

日 時	内 容	講 師	参 加 者
12月5日(木) 9:30~14:00	テーマ 「みんなが集まる日には」をテーマに、次の内容で取り組んだ。 ① 「なつかしい昭和の味が、健康の秘訣！」市管理栄養士鈴木佐世子氏の講義。 ② 茅ヶ崎市食生活改善推進団体ばらの皆さんの指導で「おせち料理7品」の実習。	鈴木 佐世子 (市保健所健康増進課 管理栄養士) 田尻 珠子 氏 (食生活改善推進団体ばら)	18人

セ 茅ヶ崎市の歴史講座

【目標・目的】 平成29年度茅ヶ崎市立鶴嶺公民館運営審議会において、茅ヶ崎市の歴史講座の開催要望があり、平成30年度より講座を開催している。講座を開催することにより、鶴嶺を中心とした茅ヶ崎の歴史経過を学び、茅ヶ崎生まれの人や茅ヶ崎に転入してきた人の区別なく、鶴嶺や茅ヶ崎に愛着を持っていただくことを目的とする。

日 時	内 容	講 師	参 加 者
2月13日(木) 10:00~12:00	鶴嶺公民館の地元の『鶴嶺』がどのようにできたか、『懷島と鶴嶺八幡宮』を中心に紐解きます。	東 哲郎 氏 (まなびの市民講師)	※講師体調不良のため中止

5 出版活動

(1) 公民館だより「つるみね」

公民館の主催事業や活動の紹介と報告、その他情報提供を中心に取り上げた。約1,800部を自治会回覧し、また市内社会教育施設などに送付した。

出 版 名	号 数・形 式	編 集	部 数
公民館だより つるみね	第95号 A4版 4頁 両面印刷	鶴嶺公民館職員	各2,500部

(2) 情報誌「情報つるみね」

公民館の情報紙として、公民館事業のPRとして自治会回覧をした。

出 版 名	号 数・形 式	編 集	部 数
情報つるみね	第118号~第121号 A4版 両面印刷	鶴嶺公民館職員	各2,000部

6 その他

(1) 利用者説明会

公民館は地域文化活動の拠点としての役割が期待されている。そこで、公民館の役割とその利用方法、サークル活動を理解してもらうために実施した。

日 時	内 容	参 加 者
5月18日(土) 10:00～10:30	公民館の利用方法、館からのお願い	66人

(2) 利用者懇談会

より良い公民館運営を目指しての利用者との懇談会。利用者の主体性のもとに自主的に組織された「茅ヶ崎市鶴嶺公民館利用者懇談会」が発足し、29年目を迎えた。公民館と世話人会で運営を進め、話し合いを中心に年3回開催された。「つるみね利用懇だより」も157号から159号まで発行された。

日 時	内 容	参 加 者
4月13日(土) 10:00～11:30	平成31年度第1回利用者懇談会世話人会	20人
5月18日(土) 9:30～11:30	令和元年度第1回利用者懇談会	66人
8月17日(土) 10:00～11:30	令和元年度第2回利用者懇談会世話人会	20人
9月14日(土) 9:30～11:30	令和元年度第2回利用者懇談会	56人
12月14日(土) 10:00～11:30	令和元年度第3回利用者懇談会世話人会	13人
1月18日(土) 9:30～11:30	令和元年度第3回利用者懇談会	52人

